

取組の背景

- これまで首都圏を中心に不動産の売買、仲介、開発事業を展開してきましたが、「空き家問題を通して社会貢献をしたい」という思いの元、2016年より空き家事業を開始。エリアに最適なソリューションを企画提案し、眠っている空き家をまちの資源へと再生してまいりました。また、同時期には空き家対策に取り組むNPO法人を設立し、行政や自治体と連携しながら、所有者の声に寄り添い、空き家の相談受付や啓発活動をおこなってまいりました。
- これらの活動を通じ、空き家の発生抑制においては、高齢者のみならずご家族全員が実家や持ち家の将来を事前に考え、話し合うことが最大の防止策であり、そのきっかけが不足していると考えています。各々のライフステージに合わせたツールの制作やイベント、メディアへの発信を通して生活の身近で空き家が発生している現実を体感することが必要だと感じ、今回の事業の提案に至りました。

取組内容・期待される効果

【取組内容】

- 高齢者への空き家抑制意識の啓発と支援
身近な「暮らしの悩み」をテーマにセミナーや勉強会開催および自宅の有効活用支援 など
- 相続する子世代（若年層を含む空き家予備軍）への啓発
将来設計の準備を喚起することを目的とした相続対策セミナーやグループインタビューによる意識調査の実施・レポートの提供 など
- 一般層に向けた認知拡大のためのアプローチ
空き家啓発ツールの開発・提供、DIY体験等参加型イベントの実施、産学連携プロジェクトによる若年層への啓発 など
- オウンドメディアにて空き家に関する適切な維持、管理などの知識の普及啓発
空き家専門メディア「アキヤノワダイ」において、終活のHow to 紹介記事や空き家処分など、当事者として考えるきっかけづくりとなる特別コンテンツの拡充。

【期待される効果】

- 高齢者のみならず若年層を含む空き家予備軍へ空き家に対する問題意識を波及させていくことができます。
- 様々なニーズ（売買・管理・活用等）に対して社内で独自にスキーム構築ができるため、相談者のお悩みの解決に向けて直接かつ包括的なアプローチをすることができます。



セミナーのイメージ



DIYイベントのイメージ